

1 単元 角とその大きさ (本時 6/7)

2 本時の目標

角のかき方の手順を理解し、分度器を使って正しく角をかくことができる。(知識・技能)

学習形態	アンプラグドプログラミング	使用機器	OHC
プログラミング的思考とのつながり	角のかき方のフローチャートをつくっていくなかで、手順を可視化し、論理的思考力を高める。		

3 展開

時間	学 習 活 動	※教師の支援	◆思考ツールの活用	☆評 価
	<p>どうやって角をはかったかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は分度器の中心を頂点Aにあわせるんだっかね</li> <li>分度器の0°の線を辺アイにぴったりあわせないと、答えが違ってきちゃうね</li> <li>180°をこえているかいないかでフローチャートが分岐するよ</li> <li>辺の長さが短いときは、線をのばせばよかったね</li> </ul>	◆前時に作成したフローチャートの流れを確認し、実際に角をはかる。	
5	<p>30°の角をかいてみよう</p> <p>○グループで必要な作業を考えて付箋に書き出し、手順を考えて貼ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直線をかかないといけないよ</li> <li>角度を測る必要があるよ</li> </ul>		※必要な作業を想起しやすくするために、30°の角の大きさを予想させたあと、図を提示する。	
20	<p>○班で考えた手順を発表し、確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>途中まで一緒だね</li> <li>角度をはかるときは、中心をあわせてから0°の線をあわせたね</li> </ul>		※作業の順序を入れ替えやすいように、付箋を用意する。	
35	<p>○フローチャートに合わせて、30°の角をかこう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はじめて角度がかけたよ</li> <li>角のはかり方と似ているね</li> </ul>		※取りかかりで迷っているグループには、考えやすくするために、手順のはじめと最後を指定する。	
40	<p>○授業の振り返りをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手順がわかると、正確に角がかけられるね</li> <li>順序よく作業することが大切だね</li> </ul>		◆黒板に作図のフローチャートを作成する。	
	<p>☆角のかき方の手順のフローチャートを使い、30°の角をかくことができたか。</p> <p>(作図、取り組みの様子)</p>		※手順に行き詰まった場合は、できた部分を使って実際に角をかき、次に必要な手順を想起してみるよう促す。	

